

H2論理国語 TSL

探究・レポート・サバイバル

# 構成・形式

# レポートの構成

----

はじめに

先行研究の紹介(使用書籍2冊の要約)

理性で判断

自身の考察

主体として検討

おわりに

あとがき

参考文献一覧

# レポートの構成

----

はじめに

先行研究の紹介(使用書籍2冊の要約)

自身の考察

★今日はこの2冊を選ぶところまで

おわりに

あとがき

参考文献一覧

# 文献選び

# 本の選び方

----

① ジャパンナレッジから一冊

② 新書マップから一冊

→入手可能か確認

→取り寄せ

# 本の選び方

----

① ジャパンナレッジから一冊

② 新書マップから一冊

→入手可能か確認

→取り寄せ

# ジャパンレヅジSchool

🔍 検索キーワード

詳細検索 ▼

"フレーズ検索" ⓘ



目次からさがす



主題図



新書・文庫



雑誌



古典文学



学習まんが



my本棚



my辞書設定



カード設定



使い方



管理メニュー



メニュー



## ジャンル（学部・学科別）

文学・文化・歴史

哲学・心理学・宗教学

語学・コミュニケーション

教育

福祉

社会学（国際・メディア）

法律・政治・行政

経済・経営・商学・観光

理学（数学・物理・化学・生物・地学）

工学（機械・電気・建築）

情報学

環境学

医学・歯学・薬学・看護学

農学（農・獣・畜産・水産）

家政・生活科学

芸術（音楽・美術・演劇）

体育学・スポーツ

自分の探究テーマに関わりそうなジャンルを**2つ**選ぶ（例 観光・行政）

どちらかのジャンルの文献を1冊選ぶ

## シリーズ



岩波新書



岩波ジュニア新書



岩波科学ライブラリー



岩波ブックレット



ブルーボックス



岩波ジュニアスターボックス



角川ソフィア文庫



岩波クラシック

おすすめは岩波ブックレット

探究ジャンル①	探究ジャンル②	著者	タイトル	出版社	出版年

シートに

ジャンル(選んだもの2つ)

書誌情報(選んだ一冊の情報)

を記入

# 本の選び方

---

① ジャパンナレッジから一冊

② 新書マップから一冊

→入手可能か確認

キーワードか文章を入力。

 ×

書棚で見るテーマ一覧 ▶

新書に訊け! ▶

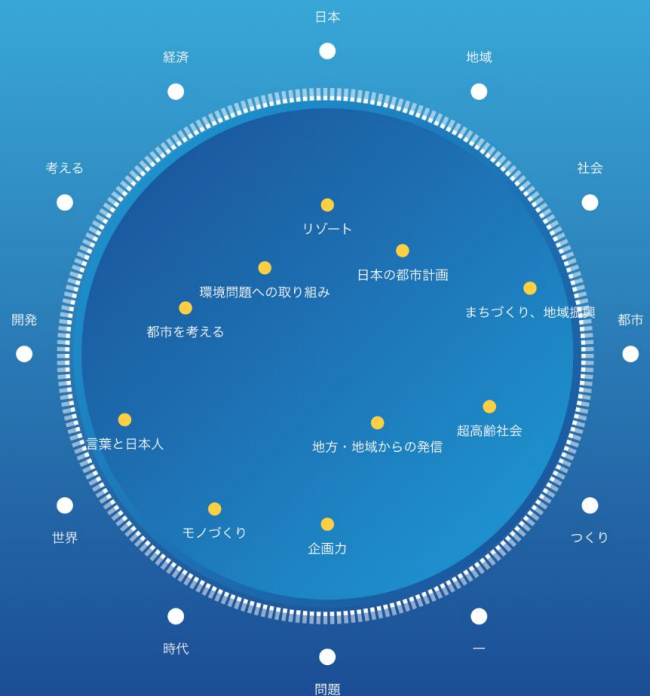
連想検索

関連テーマ ▲

- リゾート ▶
- 日本の都市計画 ▶
- まちづくり、地域 ▶
- 超高齢社会 ▶
- 地方・地域から ▶
- 企画力 ▶
- モノづくり ▶
- 言葉と日本人 ▶
- 都市を考える ▶
- 環境問題への取 ▶

↻ 再検索

関連キーワード ▼



# キーワード検索



書棚から見てもOK



» 書棚で見るテーマ一覧



# 2冊目は入手可能？

----

- ① [青翔開智OPAC](#)
- ② [鳥取県立図書館](#)
- ③ [鳥取市立図書館](#)

シートに

キーワード(新書マップ)

書誌情報(選んだ一冊の情報)

入手方法・取り寄せ希望するかしないか

を記入

キーワード	2冊目				入手方法	取り寄せ希望
	著者	タイトル	出版社	出版年		
					▼	▼
					▼	▼
					▼	▼
					▼	▼

H2論理国語 TSL

探究・レポート・サバイバル



# 文献の読み進め方

# どっちを先に読もう～～(悩)

---



←たぶん、こっちの方が  
パンピー向けだな  
先に読もう！

[書誌詳細情報](#)



[書誌詳細情報](#)

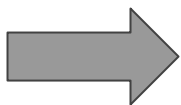
# 下読み

---

まずは

序章(はじめに) + 終章(おわりに) + 目次

を読む！



❑ 難易度(専門性・抽象度・詳細さetc.)

❑ その本から得られそうなもの

をイメージする

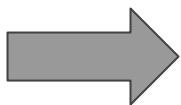
# 下読み

---

まずは

序章(はじめに) + 終章(おわりに) + 目次

を読む！



❑ 難易度(専門性・抽象度・詳細さetc.)

❑ その本から得られそうなもの

をイメージする

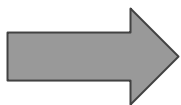
# 下読み

---

まずは

序章(はじめに) + 終章(おわりに) + 目次

を読む！



❑ 難易度(専門性・抽象度・詳細さetc.)

❑ その本から得られそうなもの

をイメージする

# その本(章)から主に得たいものは？

---

1. 課題の背景・前提知識
2. アプローチの方法論
3. 課題またはアプローチへの筆者の見解

# その本(章)から主に得られるもの

----

1. 課題の背景・前提知識
2. アプローチの方法論
3. 課題またはアプローチへの筆者の見解

例 吉川浩満「人新世における人間」

人新世とは「人間の活動が地球に地質学的なレベルの影響を与えていることを示す」概念で、2000年の地球科学会議に端を発する。環境保護に関連する語。

# その本(章)から主に得たいものは？

---

1. 課題の背景・前提知識
2. アプローチの方法論
3. 課題またはアプローチへの筆者の見解

例 若桑みどり「異時代人の目」

歴史へのアプローチとして図像＝芸術を読み解く図像解釈学がある。ミケランジェロ「最後の審判」に描かれる書物は、終末に真理が明らかになるという歴史観を表している、というように、言葉で語られなかったものを追究できる。



# その本(章)から主に得たいものは？

----

1. 課題の背景・前提知識
2. アプローチの方法論
3. 課題またはアプローチへの筆者の見解

例 柴田邦臣「ビッグデータ時代の「生」の技法」『〈情弱〉の社会学』

現代社会におけるビッグデータやAIが示す〈規準〉やサジェストに振り回される〈情弱〉な生き方を課題とする。フーコーの「自己の統治」の観点から、〈情弱〉な生き方は主体的なCitizenshipとして認め難いものであると、筆者は批判する。

タグ	観点 (到達目標)	A	B	C
7	多角的・客観的な視点を持ち自らの判断を内省することができる	自身の探究テーマについて、基本的な情報と2冊の書籍の見解を記述できている。	自身の探究テーマについて、基本的な情報と1冊の書籍の見解を記述できている。	自身の探究テーマについて基本的な情報を記述できている。

今回のルーブリック $\frac{1}{3}$ (あと2つあります)

- ❑ 「基本的な情報」はどちらの書籍から得てもOK。プラスで他の資料を示してもOK。
- ❑ 「書籍の見解」は「～には～が有効である」くらいのものでOK
- ❑ レポート(1200字以上)の500-600字を占めるイメージで

# 今日の流れ

----

- ❑ 手元にある文献の序章＋終章＋目次にざっと目を通す
- ❑ 読む箇所を決める(序・終以外で)
  - 今回のレポートでは一部分(章)を読むだけでOK。
  - だけど、探究論文執筆の際には新書レベルの本は1冊全部読んでほしい。
- ❑ 決めた箇所をとにかく一読！
- ❑ 自分の探究の糧になりそうな箇所をメモする

# スケジュール

----

11/21(火) 自身の考察＋あとがき

11/22(水) 相互チェック、「はじめに」「おわりに」執筆

11/27(月) 提出×切(17時15分厳守)

11/28(火) 自己評価(冷静なアタマで読み直す)

# レポートの構成

----

はじめに

先行研究の紹介(使用書籍2冊の要約)

自身の考察

★今日は先行研究の紹介を進める

おわりに

あとがき

参考文献一覧

# 文献の要約

# 要約の内容

----

- どのような書籍か軽く紹介する。
- レポートで必要な箇所(本論において重要な部分)を要約する。

ジャンルとキーワードを意識してまとめる。

ジャンル例 教育心理学・脳科学・地理学…

キーワード例 対話、共感、防災…

# 例 長め。

---

金井亮太『脳に刻まれたモラルの起源』(岩波書店、2013年)において人間の倫理は、検証可能な実証科学の観点から分析される。絶対的な倫理・善悪の根拠は存在しない。しかし、道徳的な判断は各人の脳の構造や遺伝子に左右されるのであり、脳科学で説明可能なのだ。従来哲学や主観の領域で扱われてきた倫理の問題を脳科学によって分析し、科学の知見を政治学や経済学といった社会科学に活用することを金井は企図する。

金井によると、共感や信頼に基づく利他的な行動を促すホルモンであるオキシトシンは(…)





# 例 短め。

---

金井亮太『脳に刻まれたモラルの起源』(岩波書店、2013年)において人間の倫理は、脳の構造や遺伝子といった脳科学の観点から分析される。

金井によると、共感や信頼に基づく利他的な行動はオキシトシンというホルモンによって促される。このオキシトシンは薬物によってのみならず、抱擁などの身体的な接触によって自然に放出される。インターネットで、画像やテキストといった視覚的・言語的情報に限らず、バーチャルな接触を実現することで、遠隔コミュニケーションでも深い信頼関係を構築できると考えられる。この具体例として、「テレノイド」や「ハグビー」などのメディアが挙げられる。(280字)



# 注意点① 親切に書く！

----

- ・読み手が誰かイメージして書く

今回は「あなたの探究内容を把握していない同級生」を想定しよう。  
その人はあなたの探究テーマについてどれだけ知識があるだろうか。  
知らなそうな言葉・概念は補足説明をしよう。

- ・ぼやかさずに書く

「主に」「大体」などは避ける

## 注意点② 簡潔に書く！

----

「だ」「である」調で書く

主語・目的語のない(わかりにくい)文を書かない

※一文の中で主語が変わるときは必ず「、」を入れる

長すぎる文は短く分割する(3行を超えたら長い)

文頭の言葉と文末を対応させる

例 彼女がきょう不機嫌なのは、バスの運転手に意地悪された。

→彼女がきょう不機嫌なのは、バスの運転手に意地悪されたからだ。

内容で魅せるために  
簡潔で明快な記述を  
目指す

H2論理国語 TSL

探究・レポート・サバイバル

# スケジュール

----

11/21(火) 要約つづき＋自身の考察

11/22(水) 執筆＋相互チェック(15分程度)

「はじめに」「おわりに」加筆 & 推敲後の修正

11/28(火) 執筆＋提出✕切(17時15分厳守)

11/29(水) 自己評価(冷静なアタマで読み直す)

# ルーブリックの全体

タグ	観点（到達目標）	A	B	C
7	多角的・客観的な視点を持ち自らの判断を内省することができる	自身の探究テーマについて、基本的な情報と2冊の書籍の見解を記述できている。	自身の探究テーマについて、基本的な情報と1冊の書籍の見解を記述できている。	自身の探究テーマについて基本的な情報を記述できている。
7	多角的・客観的な視点を持ち自らの判断を内省することができる	共通するキーワードを用いることで、先行研究紹介（新書の要約）の両方・考察（自身の探究・見解）・あとがき（自分の具体的な経験）を抽象化して結びつけることができる。	共通するキーワードを用いることで、先行研究紹介（新書の要約）の片方・考察（自身の探究・見解）・あとがき（自分の具体的な経験）を抽象化して結びつけることができる。	共通するキーワードを用いることで、先行研究紹介（新書の要約）一つ・考察（自身の探究・見解）・あとがき（自分の具体的な経験）を抽象化して結びつけることができる。
15	思考を的確な文章で表現することができる	相互チェックを通して推敲して、完成稿に記述上のミスがなく、さらに語彙の選択や説明に工夫が見られる。  例 繰り返し同じ語彙を使わないよう、言い換えができています。専門用語には注釈をつけている。	相互チェックを通して推敲し、完成稿に記述上のミスがない	相互チェックを通して推敲しているが、完成稿に記述上のミスがある。  例 誤字脱字・文末表現が不適切・主語と述語が対応していない

# はじめに・おわりに

---

こんな話をするよ！というレポートの要約を示す。

例

本稿では子どもの**共感**力を育む方法を探究する。まずブレイディ(2019)で、「同感sympathy」と比較することで「**共感**empathy」を定義する。さらに金井(2013)で**共感**や信頼に基づく行動が脳内物質によって促進されることを示す。これらを踏まえ、本校の生徒の共感的な行動を増やすためのアプローチを提案する。

こんな話をしたよ！というレポートのまとめをする。

例

本稿では、「共感」を自分とは異なる立場や価値観の他者を理解することだと定義し、さらに利他的な行動を増やすためには身体的接触が有効だと確認した。筆者の探究では〇〇をすることで、共感的な行動が増えるという仮説のもと、検証を行っている。現状では有意な結果が出ていないが、△△をすることで、より有効なアプローチを見出せるのではないかと考えている。

11/28(火)

---

20分 執筆

05分 相互チェック・加筆修正の説明

10分 相互チェック1回

10分 加筆修正



# 相互チェック(10分間)

---

- ① ドキュメントを「閲覧・コメント」権限つきで共有
- ② コメントをつけてもらう。訂正案はつけられたらでOK。書いてある分をざっと読むのを優先する。
- ③ 口頭でコメントをもらう

## チェックの観点

- ・誤字脱字がないか
- ・助詞(「を」「が」「は」など)が抜けていないか
- ・主語や目的語が落ちていないか
- ・説明は足りているか
- ・わかりにくい箇所はないか
- ・段落頭は一字下げ

# 加筆修正するとき

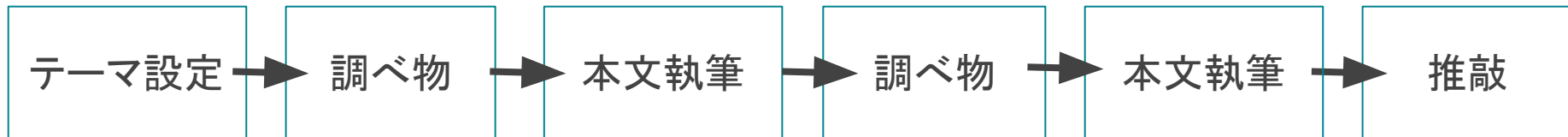
---

- ❑ 第1稿→第2稿→第3稿とページを追加する  
(全文コピーし、修正を加えていく)
- ❑ すべてログを残しておく
- ❑ 変更箇所はハイライトで示す

# レポート執筆とは

# 本文を書くだけじゃない！

----



というか、わかりやすく書いている時間の方が短い。

調べるための資料を調べたり、まとめるために削ったり。

# 今回のみんなのすごいところ

----

資料を自分で選んだ！

どこにあるかも自分で調べた！

複数の資料にあたって執筆した！

普段あまりしない推敲作業をした！

